

7/20
朝日

「書き換え不可認識なし」

敦賀2号機 原電が社内調査

日本原子力発電の敦賀原
発2号機(福井県)で、再稼
働に向けた審査資料の地層
の調査記録が書き換えられ
た問題で、原電は19日、原子
力規制委員会に対し、「書

き換えてはいけないという
認識がなかった」などとす
る社内調査の結果を報告し
た。現場の担当者らの判断
で、経営層は説明を受けて
いなかったとしている。

同原発では、原子炉建屋
直下を走る断層が審査の焦
点になっている。動く可能
性がある活断層と判断され
れば廃炉になるため、原電
は審査で活断層ではないと

主張してきた。

原電によると、2017
年2月ごろ、社内の担当グ
ループの責任者やメンバ
ー数人と調査会社で、ボーリ
ング調査の記述を別の調査
結果に上書きする方針を決
定。断層が動いた可能性を
否定する記述に改めるな
ど、計80カ所を書き換え
た。当時の上司2人や担当
役員は事情を知らなかった
という。

昨年2月、規制委の指摘
で書き換えが発覚。規制委
は原電に経緯の説明や原因
究明を求めるとともに、昨
年末以降、都内の原電本店
に立ち入り検査を計6回行
うなどして調べている。